(大正十年五月二十三日第三種郵便物認可)

夕刊　磐城新聞　七月二十日發行

令旨奉戴二十週年奉祝 大日本青年團 非部動員

大會參加の記（四）

東部青年團代表　鈴木文雄

國家非常の秋にあたり、我等は大日本青年なりの自覺をもつて、常に一切の行動はいつもその感激によつて行はねばならない。と興亞青年道を强調し、さらに青年團の事業行事は國家の推移と共に常に、時代〳〵に應じて變化して來るのである。それが國家の青年團の道である。だから團員の協同生活の據點として青年團は機構を整備し、强化しその內容を調整充實して青年團たるの使命達成に邁進することであり、新秩序の建設であり、功利個人主義を打破せよ、かく〳〵て全國一体となり戰時体制の青年團として非常なる決意を以て今後奮鬪する樣と、言々こ亂隨あふれ眞に國家を憂ふるものであり、我々が非常なる感銘を受けました。栗原先生こそ我々のあくがれの的であり、數ケ年後に於ける大日本青年團は、必らずやドイツのヒットラーユーゲント・イタリヤのファシストより以上の青年組織の强化連帶が成り國家的な一つの機構となることは火をみるより明らかなるものであります。栗原先生をお見送り夜の行事はとゞこほりなく終了し十時過ぎ、一枚のレンコートにくるまり本を枕に講堂の板の間にぐつすりと夢もみずに眠つてしまひました。明くれば大會當日である。窓が開けるとまだ明け切れぬ曉の空より小雨がはろ〳〵と降る。なんぞ心なき雨かなと嘆せざるを得なかつたが、整頓洗顏し朝の點呼に校庭に出る頃は降らんでくれました。朝の大氣を胸一ぱいに呼吸して無事大會に參加出來ることを嬉しく思ひ、國旗掲揚、皇太神宮を遙拜し、默禱を捧げ、ラジオ体操を元氣よくやる、みんな張切つて頼もしい限りです。朝の行事を了し、食卓に飾つて與れた白百合の强い香をかぎ、國防婦人會の方々に力强く朝の言葉を交しあつい味噌じる、香の物の簡單な食事をとる、小休の後神庭に於て數度に渡りの大會豫行演習を行ひ、黑木中隊長引率の下に朝のすがすがしい街を行進し、信濃川畔の綜合グランドに急ぐ十三道縣一萬三千の若者いづれも元氣一ぱい續々と集つて來る

檢査前後（下）

壯丁祈願祭　石川徹

○御酒持ちてこゞしき道を登りつゝ男となるを友と語らふ

合格二首

○國ひらけ二千六百年の此のよき日兵となりたる喜びに滿つ

○現實に兵となりたり大君の强き御楯といゆく日待たむ

遠藤太郎兄征く

○兄の如思ひゐし人もはるばると南支戰線にいで征きにける

○征くと云ふ兄の便りを讀みゐつつ此のたかぶりのたきへがたしも

○まかがよふ青葉の光り身にうけて凛々しく兄はい征きたりけむ

○征くと云ふ便りを持ちてしましくを武運祈りてゐたりけるかも

消息

個展のため、鳥取に來て居ります。平からこちらへ移動せる紅裙部隊、十餘名となり「磐風あなどるべからず」デス。人生到る所靑山在りとは彼女等のメッセーヂ？であります、呵々。

七月十八日　鳥取にて　島田忠夫

7月21日
△僧文覺寂す（建仁元）△家康會津征討發程（慶長五）△クレーギ第三次會談で英我方の原則的要求を承認（一四）

7月22日
△源賴家征夷大將軍となる（建仁二）△平野國臣刑せらる（元治元）

こゝろの糧

○此世にありては正義は必ずしも勝を占めず、正邪時に相轉じ、是非屢々相反し、孝貞節義の人、往々にして無殘の死に終ることあり　漱石

講談　夜嵐お絹　〔125〕

桃葉軒鳳玉　筒井直衛　嵐璃鶴

小林金平はおきぬを妾として伊豆の熱海に遊び、幸ひあたみに人もなしなぞと洒落を云ひながら二月あまり居たが、もう湯治も倦きたと東京に戻り、おきぬは立派に引祝ひをさせて紀の國屋と云ふ御神燈をたゝむで猿若町の住居には小林別宅と云ふ表札が出た、

何がさて金のある金平とておきぬは此の人間さへ捕へて居れば活計歡樂心の儘何ンな贅澤でも出來る、ところで當所には前にも申した通り、中村座、市村座、河原崎座の三芝居がやぐらを擧げてゐる、從つて藝妓や俳優其他の藝人も巣を營けてゐる、朝夕會ふ者は不生涯的の人類ばかり、中にもおきぬの目に着いたは大阪から上京つて來た嵐璃鶴後の市川權十郎、老先生も度々會つた事があるが、見れば見る程好男子、それに如才なく又藝人らしい臭氣がない、

何う云ふ譯か藝人には厭な所がある、そして意外に野暮で兎角金錢にこだはる漸く人氣が出て來て親方とか旦那とか師匠とか云はれるやうになると、此の世界は自分の爲出來た物だと云はんばかりに大きな面をして横暴を極める、

然し璃鶴はそんな事はない、大阪から東京に來るものとて、今は河原崎權之助の弟子になつてゐる、河原崎權之助は後の九代目市川團十郎、即ち俳優の神樣、團十郎に落語家で三遊亭圓朝、講談師で松林伯圓それを明治藝界の三傑と云ふ、

其團十郎がまだ權之助時代璃鶴は之に就いて修行した、又東京の人の愛顧の附くやうに花柳界に立ち入る今なら小林三三さんに嘲笑れるであらうが是も一つの策略、好んで藝妓や幇間にに交際ふ評ではない、己を殺しゝ人、氣を取る、然云ふ事からおきぬの許へもと出入す、其璃鶴の送りをしてゐるのが前席にも一寸出た三次郎と云ふ者、派手な服裝をしてゐたものですの周旋でおきぬに璃鶴が接近する事になつた、

「璃鶴さん、お前さんにはお內儀さんはないのかネ」

「そんな物はございませんまだ修業中の私、一人前の役者になりもう是で宜いと云ふ時の來ぬ內は女房は持ちませぬ」

「お前さんは堅いネ、ねら璃鶴さん、他のお世話は出來ないがお金の要る時はさう云つて下さい」

それを聞いて三次郎が

「偉いナ、御新造の云ふ事は面白い、他のお世話は出來ないが、お金の事は引受けたとは、是は云へない事ですネ、兄弟分の仲でも金だけは他人だと云ふ世の中に、お金の事なら引受けたとは世にも稀なる美談ですネ」

「生意氣な事をお言ひでない」

とおきぬは笑つた、璃鶴は嬉しく思ひ

「有難うございます、入用な事が出來ましたらばお願ひ申します」

と斯う云つたが成るべく金の無心はせぬやうにと心懸けた。

おきぬは璃鶴を自分の物にしやうと思ひ

「親方、小遣を持つてお出でなさいよ」

と包んだ物をくれる、此方は藝人の事とて要りませぬとも言へず禮を述べて收める、斯うなると三次郎はおきぬの心理態を看破して何んの彼のとおきぬから金を取る、三次郎は惡黨ではないが、其頃の芝居者には斯う云ふ陋習があつた　惡くいへば浮薄者の集合地帶

天保三年八月十九日斬首に處せられた鼠小僧次郎吉と云ふ賊が、傳馬町の牢にゐた時相牢にゐた本鄉の博奕打三森の安と云ふ者＝こんな事を云つた

「安や、俺の親父は中村座の留場であつた其縁で俺も芝居者とも交際ひ、大分金をくれてやつた事もあり、又助けた事もある、今度俺が御用になつて入牢して以來友達や懇意な者が見舞として種々差入をしてくれたしかし芝居者からは紙一枚の差入もねわ、愚痴な事を云ふやうだが不實な奴等だ俺はもう娑婆がねわから厭な文句も云ひたくねわが、主が娑婆に出ても芝居者ばかりは目をかけなさンな」

と賊さへも泣かした程の芝居者、それゆゑ三次郎は何んの彼のと名を附けておきぬから金を絞る。

吉例土用丑
牛肉大賣出し

二十一日土用入り丑

滋養豊富な牛肉を是非……

平市田町　石川亭　電話四十三番

りん病 こしけ　專門藥

岩里 別府淋藥　一週間分參圓(黑)五眼(赤)

痛みある病。熱ある病　岩里 別府散　七包入 五十錢　十五包入 壹圓

製藥本舖　別府市　岩里天然堂

代理店　平市古鍛冶町一〇　阿康藥局　電話四十四番　振替東京三〇〇六五番

防火防空銃後のつとめ 資源愛護は火の用心

太陽無機コロイド塗料定價表

塗料番號	色別	防火塗料 容量	價格
一號	白色	一斗罐入	三〇、〇〇
二號	濃鼠色	同	三〇、〇〇
三號	黑色	同	三〇、〇〇
四號	銀鼠色	同	三五、〇〇
五號	國防色(陸軍色)	同	四五、〇〇
六號	濃綠色(海軍色)	同	四五、〇〇
七號	藤色	同	三五、〇〇
八號	クリーム色	同	四〇、〇〇
九號	綠色	同	四〇、〇〇
一〇號	薄藍色	同	四〇、〇〇
地塗液		二升罐入	五、〇〇
仕上液		同	三、〇〇

（各一罐の塗料面積二十坪ヨリ三十坪）

あなたの御健築物の御保護のために、更に進んで國防的御見地から、是非効力絶大なる太陽無機コロイド防火防空塗料の御使用をお奬め致します

專賣 特許　太陽無機コロイド販賣店

山田文一商店　平市仲町通り　電話二六二番

カタログ進呈

コーライト

木炭・豆炭・コークスの代用燃料

三菱コーライト

御奬メ申上マス

特長……火力强ク火持チヨク、木炭ノ半値

御使用ハ御家庭用ノコンロ、火鉢、鍛冶用

一俵(五〇キロ)カラ配達致シマスドウゾ御注文下サイ。

昭和十五年六月

平市田町二　阿部石炭商店　電話 三七番 一三七番

鑑定項目

名前のみて一代の運命　何んでもわかる……

體力（肉体・疾病）（健康、不健康、相貌）（病根病勢 病名）に關する一切

活動（職業・天運）（適業、不適業）（天運、成功、不成功）に關する一切

血緣（家族運・男女緣）（父母の緣、夫婦の緣、子供の緣）有無（氣質、相性、相尅、婚期方位）に關する一切

銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

日本姓名學會東北支部長　鵜沼孝昌　平市紺屋町三六

ミシンと洋裁

ミシン界の王座　陸軍省御用達　商工省撰定　滿州御指定　純國産ノ權威

アサヒミシン
ニッポンミシン
ニッサンミシン
パインミシン
シンガーミシン

現金、月賦、教授　型錄無代進呈

平市田町　シンガーミシン商會

◎中古高價買入

實用新案登錄第一八七四三〇號　意匠登錄第六六一六七號　石山式

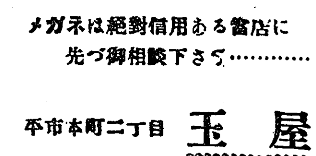
石綿ムシカマド

こんな經濟的な「かまど」は他にありません

安價な燃料で濟み、保溫力が强く堅牢で火の元絶對安全！、御使用に御便利な！石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、おすゝめ致したい新製品で御座います。

和洋銅物 金物問屋　釜屋商店　平市五丁目

メガネ專門の店



メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい…………

平市本町二丁目　玉屋

吉田眼科醫院

醫學士　吉田久雄

平市紺屋町　電話六八番

和洋結髪 パーマネント・ウエーブ

夏向の髪姿數種を研究致して參りました。何卒愛顧の程を御願致します

（徒弟入用）

手塚美容院　平市新田町

一般貨物運搬

迅速低廉に御取扱ひ致します、

福好工業合資會社　代表者 强口唯七郎

自動車部　電話二八二番

砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

御婚禮御着附

パーマネント ウエーブ
洋和結髪 オゾン美顏術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髪洗毛

美爪術 電話 六七八營業所 五二五自宅

平市驛前　水野化粧院

お醤油は……ヤマフル

味噌醤油　たひら正宗　鰹節 食品料

壚屋　山崎合名會社　福島縣平市　電話（營業部一〇番 本店二七番）

明治生命磐城代理店　山崎輿三郎

絶對の動から靜へ！

防空明けの今日は市商店街の公休

休養芳々靜かに跡片附け

地方の防空訓練は昨深更の演習終末間際に發せられた訓練空襲警報ヶ最後に午後正十二時を以て完全に終了、今曉零時から寸分の違ひなく、皎々たる灯は晝の如く明るい下界は茲に全く一週間以前の平常に復歸した。絃の如く張り切つた心も弛んで泥の樣な熟睡に前後七日の疲勞を解消した今二十日は、市內各商店にとつて月に一度の公休日奮闘後の休養に與へられた絶好の機會と云ふべく大戸固く鎖した名戸前に水槽、砂箱、火叩きなど防空資材が用も無げに置かれてゐる旋風後の沈默に、傳令後の如く飛んで炸烈した爆煙が街に滿ちた昨日を顧みると、蓋し凄愴な動から水底さながらな靜への兩極的場面の轉變である。今年も愈よ今日から土用に入つて恰も良し明二十一日が丑の日、一日の湯行きに一週日の緊張を心ゆく迄暢叙する防空陣の勇士も數多い事であらう

有終の美を發揮

昨夜の猛訓練

三時五十分、曉の空襲から灼熱の下終始防空陣を一日固らせつゝ夜に入つた昨最終日の訓練は七時十分燈管直前の第三期以來の第四回目から十時五十分今次訓練最終の空襲警報が發せらるゝや氣負ひ立つた一同は「最後だ、しつかり」と相次ぐ敵の猛爆に鐵壁の防空陣を敷き遺憾なく有終の美を發揮した

最近の世相を語る

通話度數の激增

平局の九、六月料金統計

市內の加入電話は兩三年來の電話飢饉から近年さしたる增加なく目下約八百口數を七十五名の交換孃によつて處理されてゐるが、時局が齎らした通話回數の增加は近來益々その度を深め同局の交換事務は日夜目まぐるしい繁激振りを見せてゐる。卑近な實例として每月二十日が納期の市外通話料に徵すると本年五月分六千五百二圓四十五錢で前年同期に比し三割八分五厘增同六月分五千八百六十五圓七十錢で同上二割一分二厘の增で市內相互間の增加は別に料金を必要とせぬ丈け右割合以上に激增を示して居るは勿論である

。。。。。小名局に新窓口

小名郵局では窓口の混雜を防ぐため今回新に爲替取扱の窓口を新設した

代用食講習實演會

東京榮養麵麭研究所主催の家庭向代用食料講習實演會は明二十一日午前午後の二回に亘り市公會堂に於て開催するが講師は同所指導員佐々良作氏で雜費二十錢各自試食說明書を頒つと

酒井庶務課長勇退

後任は根本益利氏

けふ市首腦部異動發令

市庶務課長酒井寅之助氏は最近兎角健康勝れず今二十日附勇退した、後任は元南會津支廳長の根本益利氏、これを機に左記課長の異動が行はれた

社會衛生課長　四家　条治

兵事課長　視學學務課長　長谷川　政

社會課長兼務　勸業戸籍兵事課長　增田　忠

兵事課長を解き衛生課長兼務

元支廳長の根本氏

根本市新庶務課長は內郷村御厩出身、郡役所廢止と共に書記から縣廳入りをし會計課長、南會津支廳長から最近まで日深協會主事として活躍した人

老後を樂しむ酒井さん

前後十三年八ヶ月間勤めた酒井寅之助氏は市役所中の法規通、大正十五年十月伏見町長の町役場に入り昭和七年助役に、同十二年六月市制實施以來庶務工場兩課長を勤めた、青沼市長には郡役所時代から緊る緣故もあり感慨を深めてゐる、市內一丁目の自宅で老後を樂しむとのこと

經濟更生の特別助成村

大野村指定さる

縣經濟更生指定村大野村は今回更に農林省から今年度經濟更生特別助成村（從來は好間一村）に指定され今後一萬一千圓の助成金により一層理想郷建設に拍車をかける筈である

平井直税課長榮轉

平税務署直税課長平井隆治氏は今回の異動により鶴岡署同上に榮轉近く出發赴任する、氏は昭和十一年六月古河より來任爾來滿四ヶ年其間第二次賃貸事務、戰時税政の圓滿執行、今次の改正税法前後に於ける健鬪等高橋前、川鍋現兩署長の下に終始地方の國税事務に貢獻した精勵恪勤重厚温和な士である、後任は石巻署から大河原署の氏が近く着任の筈

小玉川發電所視察

けふ一行數十名耐熱行軍

驚異的發展を續けて近年躍進の一途を辿りつゝ居る平電力株式會社では電氣事業の有つ國策上の重要性に鑑み大方の理解を求むべく一策として各方面關係筋を網羅し今二十日小玉川第一發電所同堰堤の視察を乞ふこととなり一行數十名は午前十時同社前集合自動車に分乘出發夕刻歸着した

同社の第一、第二兩發電所は小河川の利用に似合せず最新式の施設によつて每年十一、二萬圓の電力料を收入し極めて優良な成績を收めて居るがその第一貯水池は水面十六町歩餘の廣袤を有するので之を利用し縣水產試驗場指導の下に紅鱒、ワカサギを發殖中で本日の視察滯遊中にはそこでの太公望もプランに加へられ、一同鮮魚を家苞にした

折も良し日曜のうし

例祭の波立藥師から四倉附近一帶

濱行き部隊で大賑ひか

適順な天候に惠まれた萬頃の美田青々と既に秋の豐收が確實視されてゐるさへある折も折、打ち續くこの本陽氣、全く申し分ないけふの土用入りである。防空訓練も極上々の成績に終つたし、中等學校の夏休みも始まる。明日曜の「丑」が皇軍の武運長久、家內安全、五穀豐穰を祈願する波立藥師のお祭りに拍車されて、ゴツタ返しに賑ふは時節柄然ひ乍ばに過ぐるものがあ。鐵道には臨時的の便法が講ぜれバスも時間にこだはらず極力多くの運轉を意氣込んで居るが呑み切れぬ人雪崩れにこれらの交通機關はその都度何れも鈴なり滿員の混雜を來すであらう

平驛で臨時列車運轉

平驛では明日曜の人出を見越し既報の如く

午前七　五〇　八、二〇　九、四〇

の三列車を波立藥師前へ臨時停車させ參詣人の便をはかる外午前七時五十分と九時四十分　臨時二本を運轉、淋客輸送に紛租する

土用稽古

平署　一般參會を歡迎

平署では今年も明後二十二日から今月一杯每日午後三時から五時まで同署演武場に於て柔劍道の土用稽古を行ふが、一般參會を歡迎する

。。。。。小名校記念植樹

小名濱第二小學校職員一同で村玉川紀念關部落から白らぎを移植　開校記念を兼ね防除植樹とした

島田氏個展

さきに東京で大成功を收めた島出忠大小品日本畫展は更に昨十九日から二十三日迄島取驛前丸由に於て開催中であるが新作小品二十點を展觀、鑑賞同好間に好評を博して居る

陣中を聽く

（806）

輝く戰果を顧みて

銃後の御支援に感謝

五町目出身　荒　忠二郎君（通信）

拜啓、時下盛夏の折柄御貴殿をはじめ會員御一同樣には御壯健にて御過ごしの事と推察致して居ります。小生事日々頑健にて軍務に相勵み居りますれば他事乍ら無放念下され度御願申上ます。每々御慰問下され又此度多大なる慰問品御送付に預かり厚く御禮申上げます。尚今迄の戰果は銃後の皆樣が種々困難なる狀態を克服されて我等を御指導御鞭撻下された賜と深く感謝致し居ります處です。今後に一意專心軍務に勉勵致し聖戰の本旨貫徹に邁進致す覺悟で御座います。今後宜しく願ひ上げます。命ば本年は近來にない水不足の由、平地方は如何で御座いますかお伺ひ申上げます。併し乍ら諸農作物は例年に劣らぬ收穫の由お喜び申し上げます。當地も追々夏深くなり連日百度內外の暑さです。併し夜分は氣温が低下致し七十度で肌寒さを感じる程です。內地も暑さ嚴しき事と存じますれば充分に衛生に注意されて暮されん事を祈り上げます。甚だ亂筆乍らお伺ひ旁々御禮まで申上げます。末筆乍ら全員御一同樣に宜しき樣御傳言願ひます

前途は遼遠

市內平窪出身　小野武保君

暑中御見舞申上げます。甑を熔かす炎熱の候となりましたが其後は疎遠に打ち過ぎますが皆々樣には御變りありませんか、お伺ひ申上げます。小生お陰樣を以て無事軍務に勵精元氣一杯に日を迎へ月を送つて居りますから他事乍ら御放念下さい、之偏に皆樣の御加護の賜へ感謝致して居ります。聖戰滿三年を迎へ、戰局は未だ前途遼遠この上とも御指導御鞭撻の程伏して懇願致します。末筆乍ら皆樣の御健康を祈り尚ほ此上とも留守中は宜敷御願申上げます

郡產の紫ウツギ

植物學界に登場

野崎氏の研究に折紙つく

曾て市內（現三井榮一氏邸宅）に於てサウマシオチ〔?〕一新種を發見した郷土植物の研究家野崎順氏は去月中郷里なる山田村で採集研究（たウツギの一種（この）な）を學界未知の一品種と認めムラサキウツギなる新和名を附し東大理學部本田正次博士の研究を求めた處程同博士から

先日のウツギの一種は一新品種と存じますので左の通り命名發表します。デユーデア、クレナタ、シイーボールド、イテ、チユツカリニ、フオーマパーバリナ、ホンダ（ムラサキウツギ）

の返書があり、地方產の植物が新に學界に登場するに至つた

若き魂を躍らせて

縣下中等体育大會

柔、劍道は磐中で

來る二十三日から行はれる縣男子中等學校體育聯盟主催第十九回體育大會の陸上競技は國防競技と改稱され昨年度は競技種目に國防的の種目が加味された程度だが今年は純然たる國防種目に變更されたのが新味とされてゐる

△野球（福島）　廿三日から四日間福島市營グランド福島高商グランド（第一日目だけ）兩球場で擧行十六校參加昨年の本縣代表は平商及び福商であつた

△國防競技（郡山）　廿四日安積中學校々庭で擧行種目は從來の個人競爭が全廢され各校廿名が一組となり軍裝長距離行軍競爭、障害物競爭、重量運搬、手榴彈投等の國防種目である

△柔道、劍道（平）　廿三日磐城中學校道場で擧行

△射擊（相馬）　各方部別に豫選を行ひ九月廿九日相馬農蠶校の當番で決勝戰を行ふ

好成績の春駒ゼリ

石城產馬畜產組合の今年二才駒セリ賣りは此程終了したが出場七百五十二頭この賣上げ二十二萬三千六百八十八圓

（牡）高一、〇一〇圓安二〇五圓（牝）高五二〇圓安六〇圓、平均二九七圓四五錢

昨年の出場六百八十七頭賣上價額十二萬四千七百三圓に比し遙かな好武績を示した

なほ昨年は最高六百三十圓、平均百八十一圓五十一錢、最低四十二圓であつた

。。。。。綴方で前線慰問　小名濱

小學校では兒童の慰問文を前線の郷土男士へ送ることゝなり豫定二百通中既に綴つた六十通を發送した

青年學校の夏季行事決定

磐城青年學校々友會では今夏季中の行事として

體育部主催水泳講習會、來る二十五日から三十日迄豐間海岸

學藝部主催夏季講習會、八月一日より七日迄神谷村錄田弘源寺（講師同校職員の外科外柴田郡農會矢ヶ崎農試兩技手、研究家吉田美風氏、佐久間縣工行員）を催し講習會には一般の參加を歡迎すると

賀郡山專賣局平出張所竣工

瑞雲　小野務平

工成賀客齊爲群

官廨輪焉紗壁分

他日順驚千百里

郊原楊處綠於雲

平市慶弔錄

△出生　正月町一〇金成秋雅氏長男友一君

△死亡　材木町四四山縣利男君（五）

拈華微笑

百匁一圓二分ともなつてはビタミンADも一寸補充し兼ねる

□

ウシと見し世ぞ今は戀しき物價高

□

ウめ干の日の丸辨當でウみへ、時局下の丑の日氣分は此邊に止めること

□

日縮の軒下に御用濟みの水槽砂箱、動から極端の靜へ、けふの公休風景

□

峻嚴に怒濤激する鰐ヶ淵萬斛の涼快を追ふ人達であすの波立藥師大賑ひか

新七月二十一日　日曜　舊六月十七日　乙丑　佛滅　破　房宿

▲一白　人の口舌が我が身に振りかゝり來る日注意▲二黑　家內に風波なければ萬業は自から進むべし▲三碧　喜びも喜びに終らず滿する時は過失を生ず▲四綠　ふんどしを締め直して掛れば難みも解け去るべし▲五黃　寸陰をなしんで勵むときは空より實に移べし▲六白　進むに秩序あれば重くも果すことを得▲七赤　近き所より遠きに及ぼすべき事を忘するな▲八白　人を容るゝの量なければ邪魔の入り來る日▲九紫　守勢より歩一歩とこう勢に轉じ來る好機たり

新七月二十二日　月曜　舊六月十八日　丙寅　大安　危　心宿

▲一白　內に在りて良りなく福德自ら外より來る▲二黑　思はざる引立てに逢ふことあり但し舌禍▲三碧　輕卒に走りて思はざる失敗を招ぐ事ある日▲四綠　困難多く容易に安全の道に入り難き注意日▲五黃　進むに吉しき日此日の企業は永久に榮べし▲六白　柔順にして目上の言を尊重すれば引立に逢ふ▲七赤　無理を行ふ時は後日其の反動大に來るべし▲八白　此の日小さく始めし業は後日大となるべし▲九紫　內も外も穩かならぬ日常業に忠實たるべし

天氣豫報

小名濱測候所發表

今日　南の風晴雨

明日　模樣　同

二十一日（小名濱測候所發表）　滿潮　前六、一五　後四、三〇　干潮　前一一、四〇　後一一、二五

二十二日　滿潮　前六、四〇　後五、一〇　干潮　前一二、一五　後一二、五五

音ガ生命

ビクターラヂオ

5R5　¥105

テレビアン　ナショナル　ビクター　代理店

富永ラヂオ店

〔電 四九六〕

天中軒雲月孃襲名披露特別大興行

東京劇場ノ樂屋ニ於ケル雲月・與ズル雲月孃

「ニセモノ」雲月孃アリ御注意ヲ乞フ

天中軒雲月實子　天中軒雲月孃

◎寶映畫・題浪曲　讀物　九段ノ母　杉野兵曹長ノ妻

◎女流横綱　雲井式部　特別出演

入場料八十錢（税共）

期日　廿四日午後五時

會場　聚樂館